

表 シカゴ連銀経済報告(2025年3月5日公表)

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用はわずかに(slightly)増加 賃金は緩やかに(moderately)上昇	機械工や技術者など、いくつかの職種では、ポジションを埋めるのに苦労しているとの声が寄せられた。一方で、ポジションを埋めるのにほとんど苦労していないという声も多く寄せられた。小売業の関係者は「履歴書が天井まで積み上がっている」と述べた。人材派遣会社は、特に自動車業界のメーカーによる採用が減少していると報告した。さらに、一部の機械および食品製造業で解雇が報告された。その他の製造業では、近隣の工場で最近解雇があったため、より容易に採用できたと指摘している。賃金および福利厚生費は全体的に緩やかに上昇しており、企業は、その増加を年1回の生活費調整と医療保険プランの更新によるものと見ている。
物価	控えめに(modestly)増加	1月から2月前半には全体的に価格が緩やかに上昇し、今後12カ月間も同程度の増加率が続くとの関係者は予想した。生産者価格はわずかに上昇した。原材料、エネルギー、輸送費の高騰が報告され、非人件費の投入コストが増加した。関係者は保険コストの増加も指摘した。消費者物価は全体的に再び控えめに上昇した。小売業界のアナリストは、消費者物価は消費財の関税引き上げを反映して、実施から3～6カ月後に上昇すると予想していると述べた。
個人消費	横ばい(flat)	関係者は通常よりも週ごとの変動が大きいと指摘した。自動車を除く小売売上高では、倉庫型店舗でのバルク商品、高級品、フィットネスセンターがわずかに増加した。しかし、耐久消費財への支出は減速し、家具小売業者は販促商品の売れ行きが鈍化したと指摘した。レジャーおよび接客サービスへの支出は、レストランを中心に増加したものの、2月にはその増加ペースがやや鈍化した。
企業支出	横ばい(flat)	トラック輸送の需要はわずかに増加し、運賃もわずかに上昇した。小売在庫は、やや低い水準からわずかに減少した。新車・中古車ともに在庫は低水準となったが、2024年末の需要の高まりが一因と考えられる。製造業の在庫はわずかに増加した。原材料不足の報告は依然として少ないが、ある関係者は鋳物業者からの入手が困難であると述べた。
建設と不動産	わずかに(slightly)減少	住宅建設は全体的に横ばいとなり、関係者はシカゴ地域の市場の落ち込みとインディアナポリス都市圏の成長鈍化を指摘した。住宅用不動産の関係者は、販売の緩やかな減少と住宅価格のわずかな上昇を指摘した。賃貸入居率は上昇し、家賃は引き続き上昇しているものの、そのペースは鈍化している。非住宅建設は横ばいとなったが、一部の関係者は産業プロジェクトの現地調査への強い関心を報告している。労働力と資材の高コストは引き続き建設業者にとっての課題となっている。商業用不動産部門での活動は増加し、販売価格はわずかに下落、家賃と空室率はわずかに上昇した。
製造業	わずかに(slightly)減少	機械の販売はわずかに減少した。また、機械メーカーの報告によると、自動車業界からの需要も減少している。自動車生産はわずかに減少したが、大型トラックの生産はわずかに増加した。
金融	ほぼ変化なし(little changed)	債券および株式価格はわずかに上昇したが、ボラティリティ(値動きの大きさの度合い)はほぼ横ばいであった。事業者向け融資需要は控えめに増加したが、ある銀行関係者は、この時期としては例年よりも活動が低調で、特に買収の融資が低調であると指摘した。事業者向け融資の質は全体的にわずかに低下したが、ある関係者は、売上減少と利益率の低下に直面している自動車部品メーカーの資産内容の悪化を指摘した。事業者向け融資金利は控えめに上昇したが、融資条件は全般的に横ばいであった。消費者向け融資の需要はわずかに減少したが、ある関係者はホームエクイティ・ライン・オブ・クレジット(HELOC、注)ローンの需要増加を指摘した。消費者向け融資の質、金利、条件は安定していた。
農業	穀物生産農家の農場所得は2024年と同程度、畜産農家はより好調な業績を上げられる可能性	2024年後半に農家が直面した主な出荷上の問題は概おおむね解決したが、メキシコ行き列車では若干の遅れが見られた。投入コストはほとんどの製品で安定していたが、一部の肥料の価格は上昇した。関係者は、投入コストを削減し、収穫量を増大させる精密農業技術の利用が加速していると指摘した。牛、豚、チーズの価格は上昇したが、牛乳価格は下落した。鳥インフルエンザにより産卵鶏の数が減少し続けているため、卵の価格は記録的な高水準に達した。農場経営者の借入者の中には、延滞がやや増加していることから、財政上のストレスが増大している兆候が見られると報告されたが、ほとんどの問題は、小規模なローン再編で解決できると考えられる。農場経営のための資金調達は容易に行えると見られている。
地域社会の状況	経済活動には変化なし(no change)	地域社会、非営利団体の関係者は、報告期間中の経済状況に変化はないと報告しているが、多くは最近の連邦政府の現状と将来の政策変更に関連する経済見通しについて、不確実性が高まっていると述べている。州政府当局者は、個人所得税の収入は安定した労働市場と一致しているが、その他の税収入はまちまちであると述べた。地域社会の関係者は、社会福祉サービスを提供する組織に対する連邦政府の政策の変化の影響について強い懸念を示している。ほとんどの組織は、資金調達に混乱が生じた場合にサービスを維持しつつ対応する能力がないためである。非営利団体やその他の地域組織は、食料品や住宅価格の高騰が続く中、住宅、保育、医療、食料、その他の必需品に対する需要は依然として高いと強調した。

(注) 所有する不動産の価値を担保として融資を受けることができる住宅担保ローン。

(出所) シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成